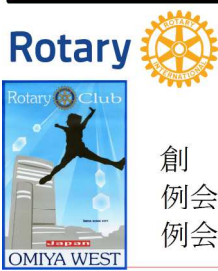


ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2015～2016年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 田口 修身	第2475例会	2016/ 6/13
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 小木曾賢己	発 行 日	2016/ 6/20
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 藤嶋 剛史	会 報 当 番	望月 諭

会 長 あ い さ つ

会長 田口 修身

皆さんこんにちは。今日は生憎の雨です。足元の悪い中、例会出席ありがとうございます。

今日はミシガンからのロータリーアン3名もメイキャップで例会に参加しています。ロータリークラブがインターナショナルであることを実感します。



先週の土曜日に地区の「規定審議会報告会」に参加してきました。当クラブからは、新見さん、渋谷さん、荒井さん、地区の役員として清水さん、新井清太さんの6人が参加しました。総勢で180人ほどです。

国際ロータリーには3つの世界大会があります。先月ソウルで行われた国際大会、1月にガバナーエレクトが参加する国際協議会、そして規定審議会です。

RIの規定審議会というのは3年に1度開かれてロータリーの定款、細則などを審議して変更していく役割を担っています。今年は4月10日から4月15日までシカゴで開かれました。181件の立法案が審議されて61件が採択されました。7月1日から施行ということになります。

2770地区からは田村規定審議会代表議員が出席してきて内容の説明をしていただきました。クラブへの影響は国際ロータリーの定款が変更されると我々の定款、それに伴う細則を変更しなければなりません。次年度以降変更を担当される方は本当にご苦勞様です。

大きな変更がありますが、わかりやすい変更は人頭分担金のアップです。人頭分担金については世界的に低金利が続いて運用益が出ないため50万ドル以上のマイナスが出ているようです。それを埋めていくために毎年4ドルずつ上げて、56ドルを60ドル、64ドル、68ドルにするそうです。その他の変更はこれから理事会・役員会で決めて、皆さんに案内していくことになります。

規定審議会では採択された決議に反対する場合は、8月15日までにRI本部に反対表明できる。その反対票が5%を超えたら決議を留保して全ロータリークラブの投票で決まるそうです。

規定審議会という大事なものはなしなので少し時間を取ってお話しました。

今日は大竹先輩にロータリーの歴史をお話いただきます。よろしくお願いします。

お 客 様 ご 紹 介 新井清太 副会長

米国ミシガン州から

ジョセフ・ストライカー さん

ビクター・アリエス さん

トリシュ・バーム さん

2770地区ブライダル委員(さいたま中央RC)

委員長 増渕一夫 様

株式会社三菱東京UFJ銀行 大宮支社

支社長 中村弘樹 様

埼玉信用金庫 大宮西支店

支店長 中村雅俊 様

青少年交換学生 Mariana Ramos de Carvalho

マリアナ・ラモス・デ・カルバーリョ さん

積極参加でロータリーを楽しもう！

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>



お客様ご挨拶

地区ブライダル委員会
委員長 増渕一夫 様
(大宮中央RC)



本日は大宮西ロータリークラブにメイキャップさせて頂き誠に有り難うございます。この日のメイキャップはSAAの福田和子さんのお誘いで参りました。埼玉一の大勢力を目指して会員の増強に日々力を尽くしておられる高橋誠一会員と同席出来、色々お話を伺えて誠に為になりました。さて本日は地区ブライダル委員長として最後の御挨拶もさせて頂き誠に有り難うございます。ブライダル委員会では毎月第二土曜日、浦和ロイヤルパインズホテル2階にて午後一時より午後三時まで相談コーナーを開いております。大宮西ロータリークラブの会員の皆様、是非1人でも多くのブライダル委員会へ登録頂ければと思います。是非多くの希望者を紹介頂ければと存じます。本日は大変貴重な時間を作って戴き有り難うございました。又、地区で色々お世話になりました。渋谷さん、清水さん、又染谷さん、お会い出来て嬉しく存じます。第2770地区ブライダルでは齊藤照夫さんにもお世話になり有り難うございます。

米国ミシガン州から
ジョセフ・ストライカー様
(通訳：吉田奉行会員)



こんにちは。私の名前はジョセフ・ストライカーです。ミシガンから来ました。私はロータリアンメンバーで、会員になって5年になります。また、来年度の会長です。私は柔術大会に出場するために来ました。2日前に来ました時にロータリーのシンボルを見て非常に興奮しました。アメリカ人であっても私はロータリアンの兄弟であり家族です。私自身皆さんの温かいお迎えに感謝しています。ありがとうございます。

入会式

☆入会者 中村弘樹様 ご紹介

高橋誠一 会員

中村さんは三菱東京UFJ銀行で以前いらした遠山さんが転勤になりまして、後任ということでお見えになりました。遠山さんが中村さんに入ってもらくようにして下さいました。昭和42年7月29日生まれの48歳です。ご家族は奥様と2人の男の子がいっぱいます。会社は三菱東京UFJ銀行ということですので、後はご本人からお話頂きます。宜しく願い致します。

☆入会者ご挨拶

三菱東京UFJ銀行大宮支社
支社長 中村弘樹 様



皆様こんにちは。只今ご紹介賜りました中村でございます。

私は、今般、勤務先である三菱東京UFJ銀行の異動に伴いまして大宮支社支社長として赴任致しました。大宮西ロータリークラブには、数多くのお取引先様が入会されており、日頃より大変お世話になっております。

前任の遠山さんの意思を受け継ぎまして、当ロータリークラブに入会させて頂くことになりました。よろしくお願い致します。簡単に自己紹介させて頂きます。

S42年生まれの48歳、2人の子供がおりまして、両方とも男でございます。上が大学院1年、下が大学1年で未だに社会に出ておりません。私は無趣味で運動音痴な方ではございますが、学生時代はスキーに熱中し山に籠ることが多かったです。最近ではラブラドルレトリバーという大型犬を飼い始めまして妻や子供以上に愛情を注いでいる状況であります。千葉県松戸市の出身で、現在も松戸市に住んでおります。埼玉県での勤務は初めてでございますし、ロータリアンになるのも始めてでございますが、「奉仕の精神」や「おもいやりの心」は人間が社会を形成し、共に生きていく際の持つべき不変の価値だと思っております。

まだまだ、勉強不足ではございますが、大宮の皆様方と共に歩み、「おもいやりの心」を持って滅私奉公して参る所存ですので、どうぞご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



左から紹介者の高橋誠一会員、中村弘樹新会員、田口修身会長

幹事報告

幹事 小木曾賢己



次週例会は年度総括を予定しております。委員長の皆様の発表をお願いいたします。万一欠席の場合は部門委員長さんに代りをお願いしてください。

ロータリーの友

広報・雑誌委員会 井上勝美 委員長



P3 RI会長メッセージ 今月のラビンドラン会長メッセージはイギリスの作家で写真家でもあったロアルド・ダールの言葉で出来事の経験はの多くは明快に捉えることが不可能であり画像や言葉では十分に伝えられない。しかし決して色あせず、何十年たっても記憶の中で炎のように輝き続ける経験もあります。RI会長として世界中を駆け巡った経験にもあてはまります。世界をより豊かにし、絶望を希望に変え、恵まれない人々に上昇への道を示すロータリーは私たち一人ひとりが「世界へのプレゼントになる」ことで、多くの人への贈り物になるです。

6月はロータリー親睦月間です。P7～15に名前が縁で友好クラブを締結し交流を続けている事例や趣味を通じての親睦活動が紹介されています。

P16～19はロータリーの明日2016年規定審議会レポート次年度以降クラブの細則の改定に影響する大変重要な「ロータリーの規定」の改定が採択されています。

会員身分に関する項目 例会開催に関する項目 入会金削除の項目 RI人頭分担金値上げの項目 クラブ理事会・委員会構成に関する項目 関連記事がP29にも掲載されています。

P22～23 4月に発生した熊本地震の緊急支援の記事が載っております

縦書き

P4 S P E E C H IPS細胞はひらく新しい医学 ノーベル生理学・医学賞を受賞され、現在は京都大学IPS細胞研究所の所長を就任されておられる山中伸弥教授です。

P9わがまちそしてロータリー福島県南相馬市

会員卓話

紙面の都合で別紙にて掲載させて頂きました。



～次回例会案内～

「次回例会は、ついに本年度最終夜間例会となります。染谷親睦委員長渾身の力作・『水戸黄門』をぜひお見逃しなく！」

会 員 卓 話

パスト会長
大竹庄藏 会員



『大宮西ロータリークラブ 50年（後編）』

前回の続きをお聞き及び頂きます。

時には生意気な言葉を口にするかも知れませんが、他意はありませんのでどうぞお聞き流し下さい。皆さん既にお気づきの通り、名札ポケットに以前発行されたクラブ週報3組を入れておきました。事務局に頼み新しく増刷組み合わせをお願いしました。ありがとう。

何故これを？と皆さんお思いでしょうから答えます。

ご覧の通り鬼籍に入られた我がクラブ5名の方々の追悼号で、5名の元会長は、わがクラブの重鎮でいらっしゃる、文脈を気にせずに申しますと、わが大宮西RCの歴史そのものと申しても過言ではない、と私は思っております。大変口幅ったい申し様ですが、その時代、私自身もこの方々と共に歩んで居た一人で、奉仕活動の実際を私自身の目で確かめているからであります。

今日はこの5名の方々とのお栄光に感謝しながら、皆様との出会い、交流を、そして表に出なかった美談、意外な一面などを中心にご披露したいと思います。

I. 追悼週報

2003～04年、荒井伸夫会長年度に佐野さん、三上さん、川村さん、2008～09年、渋谷廣慶会長年度に佐藤さん、望月さんのお二人が急逝され、両会長から、夫々追悼号を発行しますので追悼文をどうぞとのお申し越しで、林 正さんとも共、心からお悔やみを申し述べた次第です。

50年にわたるわがクラブの足跡は、お手持ちの「50周年記念誌」その他資料をご覧下されば概略をご承知頂けると思います。

○川村平作 元会長

川村さんはわがクラブ チャーターメンバー最後の先輩で、親分肌の率直な物言いで謂うところのサムライでありました。1975～76年、山口 大 ガバナー年度の分区代理はじめ、数々の要職を歴任され、「言葉じゃないよ、行動だよ」をモットーに、果敢に諸活動を進められました。

1986～87年、佐野康博ガバナー年度には、地区年次大会委員長として、4200余名登録の地区大会を成功裡に導き、喝采を博した器量人でありました。

○三上喜一郎 元会長

三上さんは盆栽に関してご造詣が深く、門外漢の私などには分かりませんが、盆栽に関わるある資格をお持ちだった相で、クラブSAA時代、鋭い感性でアイデアを提供し、地区ガバナーより表彰状を付与されるなど、また時折ゴルフにご一緒しましたが、プレイ中でも小唄を口ずさんだり、粋な先輩でした。お互い気の合うところもありまして、“ミーサン、タケさん”と呼び合っていたのも今は懐かしい思い出となってしまいました。

○佐野康博 元会長／元地区ガバナー

佐野さんと云うより、やはりヤッシュと呼ばせて頂きたいのです。ヤッシュの発案で会員ほとんどがニックネームを持ち、その結果親睦が大いに深まり、一層楽しいクラブライフになったことは確かであります。

佐野康博さんの康でヤッシュ、林 正さんはご職業上（産婦人科医）でベイビー、田中幸夫さんはブルドーザー設計のプロからブル、私は学生時代からタケさんと呼ばれておりましたのでバンブー。大宮西の4人組と呼ばれたり、楽しい貴重な“なかま”でありました。

ヤッシュは本当に多才多芸の人で、日本折紙協会会長、特に“犬の折り紙”作家として名を為し、かつてグリーンパスポートを持つ民間外交官として、海外各国各地で“ORIGAMI”講座を催したり、又ロータリーでは要職の数々を歴任、1986～87年度当地区ガバナーとして大活躍をしたお人であります。

○佐藤栄太郎 元会長

佐藤さんご一家とは、多分佐藤栄学園発足以前からおつき合いが始まったと思いますが、それから10余年後、佐藤栄高等学校はじめ、次、次と創建される学校の理事長・校長としてのご活躍に驚嘆させられたものでした。

私どもとは無縁の教育界の事情はまったく分かりませんが、佐藤校長先生は、生徒たちの躰を徹底させ、「今日学べ」と厳格な指導を推進されていたように私どもには見えました。

時折、埼玉栄高等学校を訪問しますと、出会う生徒たちが全員、「今日は!」、「コンニチワ!」と、挨拶する姿に心を打たれました。学校は少々不便な郊外でしたが、ある例会日の食事の際、今度ウチの学校の近くに川越線の新駅が、もうすぐ営業を始めるんだ。と如何にも嬉し相に話されており、われわれも、共に喜んだのでありますが、目前まで来ていた営業開始日も待たずに、彼岸へ渡ってしまわれたのには言葉も出ませんでした。間もなく営業開始となった新駅を利用する生徒の笑顔が、せめてもの慰めと思うほかありません。

どうぞゆっくりお休み下さい。

○望月 憲 元会長

望月さんのお仕事柄、わがクラブ創立以来、印刷物、資料作成など、大変ご苦勞をおかけして参りました。言わば縁の下の力持ち的存在でありました。クラブ会長時代、大宮市郊外に集団生活をしていたラオス難民グループへの援助を、わがクラブ活動事業として「ラオス村」をつくり、各種の援助活動を行ってまいりましたところ、地区ガバナーより名誉ある「意義ある業績賞」を付与されたり、お顔の広さから会員増強に大きな成果をあげられて、又も「R I 会長賞」を付与されるという大仕事を為さった大ヴェテランロータリアンでいらっしゃいました。

奇しくも、佐野さん、佐藤さん、望月さん、3人お揃いで、昭和3年生れの同年齢でいらっしゃいます。何故そんなに急いで旅立たれたのでしょうか。残念無念と申すほかありません。

II. クラブ誕生前後（1962～ ）

戦後の経済復興は目ざましいものでしたが、1964年に開催予定の東京オリンピックに向けて更に拍車がかかりました。殊に東海道新幹線の営業開始を、全国民が胸を膨らませてその日を待っておりまして。

そんな時、TV画面で J. F. ケネディ アメリカ大統領が、パレード中狙撃された光景に、アッ！と息をのんだことや、老若男女を大興奮させたプロレスのヒーロー、力道山が何者かに刺殺されたニュースが流れたり、多事多端な年が明けた1963年3月22日、わが大宮西ロータリークラブは誕生致しました。

III. R. I. 第257地区年次大会（佐野康博 ガバナー年度）

当時は埼玉県全県が一区で、94クラブ、会員数5,000余名の大地区でありました。例年イベント専門会社に発注しておりました大会を、今年はわがクラブ挙げて手造り大会にしようとの結論で作業を進めておりましたが、参加登録者が4200余人と判明したものの、その大人数を収容出来る会場が見つからず、対策に頭を悩ましておりましたが、ある協議の最中、佐藤さんが「それならウチの学校を使えばイイヨ」の一言で、瞬間、ウアッー！、ヨカッタ、ヨカッタと飛び上がって喜びました。それは正に「天の声」でありました。

おかげで佐野ガバナー年度、地区大会を無事に幕引きが出来、地区幹事の私も何とか面目を施すことが出来まして、佐藤さんに心から御礼を申し上げましたが、私にとりまして、佐藤さんも到底忘れ得ぬ人であります。

IV. 提言

「ロータリークラブへ入会することはさして難しい事では無いが、常にロータリアンとして自覚と矜持を保つには、大変な努力が必要である」と、私たちが入会の際、先輩諸兄から戒められました。

V. ポール・ハリス語録

R. L. I. の勉強で既にご存知の方もおいでになると思いますが、新会員の方々は是非ご承知置き下さる様、お願い致します。

ロータリーの創始者 ポール・ハリスはアトランタ国際大会で「ロータリーの魅力はロータリーで見いだす友情です」と、また、こうも言っております。

「ロータリーが築かれた土台は友情です」と。

戦前彼が招かれて来日した時歓迎会で、ある日本人ロータリアンが「あなたは何故ロータリークラブをお作りになったのですか?」と尋ねたところ、ポール・ハリスはただ一言「淋しかったから」と答えたそうです。

広いアメリカの地方から、1人の青年弁護士がシカゴの街へ出て参りまして事務所を開きました。しかし全然客が現れないので、遂に意を決して鉱山技師のガスターバス・ローア、仕立屋のハイラム・ショーレー、石炭商のシルベスタ・シールの皆が異なる職業の仲間4人で、仕事上の悩みや、いろんな相談事などお互い助け合い、4人の家や職場を次々順番で会を続けたことからロータリーと名付けた、と謂われております。

時間が尽きましたので終わります。また雑駁な“はなし”になってしまいました。お詫び旁々厚く御礼申し上げます。

有り難う存じました。

1986～1987年度
国際ロータリー会長
フィリピン・マニラクラブ会長
M. A. T. カパラス

